

これは使える！ オススメ塗料 ⑥

「ハイドロテクトクリアコート」

ハイドロテクトクリアコートは、ジャパンハイドロテクトコーティングスが販売している光触媒防汚コート材である。この材料の施工は、ジャパンハイドロテクトコーティングスが独自の「認定施工店制度」による施工体制網を全国に敷いており、認定施工店のみが取り扱える仕組みになっている。

ハイドロテクトクリアコートは既築のタイル外壁に使用する。そのほか、同じ無機系の材料である、ロー外壁や結晶化ガラスの外壁にも高い防汚性を示す。その名前のとおり透明なクリアコートなので、下地のタイルの色をそのまま維持する。有機系のクリアコートと違い、変に光沢が出ず、元のタイルの光沢や質感をそのまま維持するのでその点を好まれる施主も多い。また、下地の洗浄を十分に行っておくと、新築の状態に近い仕上がり感が得られる。建物外壁の防汚コートであり、防汚効果は光触媒効果によってもたらされるため、屋内では効果が出ない。また、汚れを分解する力もあるが、主に、表面を親水化して雨によって汚れを落とす仕組みなので、雨の当たらないところでは効果が弱い。

塗装方法は、まず下地となるタイルの外壁を洗浄する。これはタイル用の洗浄液を使用して行う。ここで汚れを十分に落としておくことがポイントとなってくる。洗浄後、コーティング剤を塗布するのだが、これには短毛のローラーを用いる。非常に粘性

の低いコート材なので、慣れると施工しやすい。1液性のコート材で工程は1コートである。無機系のコート材であるため、耐候性は強い。カタログ上の耐久年数は10年である。耐汚染性がこのコート材の最も優れた点である。

写真1は、ハイドロテクトクリアコートを施工した事例、写真2は洗浄後、ハイドロテクトを施工しなかったものである。タイル外壁はもともと汚れにくいものであるが、シーリング剤の汚れには勝てない。場所によってはわずか10カ月で左の写真のように窓枠の縁から黒い汚れが垂れてくる。

コストは、カタログ値であるが、足場、洗浄費用を除いて2千600円/m²である。

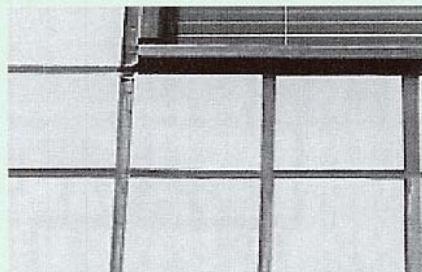


写真1 施工したほうは汚れていない

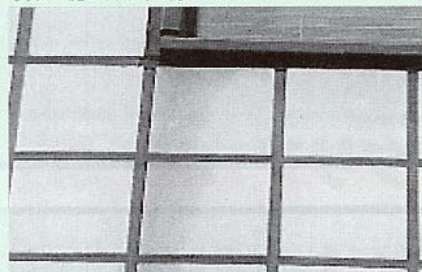


写真2 シーリング材中の可塑材の移行がみられる

製品情報

問合せ先: ジャパンハイドロテクトコーティングス(TEL03-3208-8108)

種別: 光触媒コート材